

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度第1回吉川市図書館協議会
開 催 日 時	平成23年10月7日(金) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 2時 から 4時 まで
開 催 場 所	吉川市民交流センターおあしす セミナールーム2
出席委員(者)氏名	(敬称略) 平野容子(会長)、大久保本子(副会長)、若林元城、 久田初恵、柿沼摩貴子、川島富美代、石川知美、坂入操子、栗原照久
欠席委員(者)氏名	
担当課職員職氏名	生涯学習課 山崎課長、桜井係長、黒岩主事 指定管理者 小林館長、岸田チーフ
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	1 開 会 (公開) 2 あいさつ (公開) 3 任命書交付 (公開) 4 新任委員及び指定管理者紹介 (公開) 5 議事 (公開) ・会長・副会長選任 ・平成22年度利用状況報告 ・意見交換 6 閉 会 (公開)
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	0名
会議資料の名称	・平成23年度第1回吉川市図書館協議会 次第 ・平成23年度吉川市図書館要覧 ・統計資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	若林元城委員、坂入操子委員
その他の必要事項	

(録音テープを使用した要点記録)

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
小林館長	<p>開会 山崎課長あいさつ 任命書交付 委員、事務局、指定管理者自己紹介</p> <p>議事①会長・副会長の選出について 会長に、吉川市小中学校校長会、平野容子三輪野江小学校校長にお受けいただいた。 副会長に、社会教育関係団体代表、大久保本子様にお受けいただいた。</p> <p>議事②平成22年度利用状況の報告について 資料：平成23年度吉川市図書館要覧及び統計資料 [スタッフ配置] 市立図書館と旭地区センター図書室は27名のスタッフで運営している。視聴覚ライブラリーと中央公民館図書室は10名。市立図書館27名のうち5名が旭地区センターと兼務し、1名は中央公民館と兼務。視聴覚ライブラリーの夕方の時間帯に不定期でヘルプという形態を取っている。また、視聴覚ライブラリー10名のうち6名が中央公民館と兼務しており、合計37名の社員で4館を運営している。 この内訳として、館長及び岸田が4館を統括し、岸田の元に3名のサブチーフを配置。視聴覚ライブラリー10名のうち2名がサブチーフとして配置している。司書の資格を持った者は、市立図書館に11名、ライブラリーに3名の計14名。 [業務内容] カウンターにいるのは常時4～5名。図書の流れとしては、新しく出た本を選び購入、ラベルを貼ってパソコンに登録し、棚に入れる(配架)というのが流れ。 それ以外に、返却受付や予約の作業、県内の図書館から貸借手続き、2週間を超えて未返却者に対する電話督促、3ヵ月経過した未返却者への郵便督促状、古くなった本を整理(閉架)、除籍選定処理、雑誌新聞・寄贈図書受け入れ、レファレンス業務として資料の相談や本の案内、ホームページやブログ管理、図書館システム保守管理、年1回の蔵書点検(棚卸)など様々な業務を行っている。 また、アウトリーチサービスとして、ブックスタートやブックトーク、4館で本を動かす配送便の管理や学校・保育所に団体貸出、本の修理、図書館だよりを月に1回発行している。これは、年6回だったものを12回に増やしている。 特設コーナーを設置しての本の紹介や、教員研修、中学生対象の3デイズの受け入れも行っている。 [統計] 図書資料600万円から1,150万円に倍増させた。前年比は伸びていないが、今年の4月から6ヵ月経過し前年度と比較したところ、利用者は108.5%、貸出数は108.7%増えている。雑誌数は21年度と比較し3倍増。ライブラリーは14%、中央</p>

公民館は15%と現在の数字は増えていることが分かる。

これまでの利用者数推移を見ると、今まで年々減少しているが、それをなんとか止める努力をしていく。もちろん増やす努力を。今後は、4館立地条件も違うので、館の特性を生かすことを考える。例えば駅南が今後開発されていくが、ライブラリーは駐車場がないという欠点があるので、今後は中央公民館を中心として考えていきたいと思う。もちろん市立がメインだが。

貸出冊数は、市立図書館が減少すればみな減少するのだが、ライブラリーは22年度上向きになり、今年度も上向きなので、手を入れれば利用は増えると実感している。開館日数は4館で96%、市立図書館は97.2%。

入館者数等は上回らなかったが、震災の影響で8日間閉鎖したことや、図書システムの入れ替えによる開館日数減が原因である。市立図書館のみだが、BDSとして、開館日数と入館者数を割ると一日あたりは微増しているので、一日平均では増加している。

蔵書数は、雑誌が21年度1,900だったのに対し3,114。ライブラリーは10冊に対し235冊。中央公民館は古い雑誌をずっと置いてある状況だったので、すべて廃棄させたことによる減少。ただし新規で5冊置いている。旭地区センターは、1冊に対し66冊に増やしている。また、吉川市の特徴であるAVについては、VTやLDがそれぞれ減少しているが、これはDVDに代わっているからである。

絵画は変わらずだが、開館当時から変わらないので検討している。10年間一緒だとおかしいので、少し買おうかと。

DVDが278%も増加しているのは、館内のみではなく、館外への貸出も始めた結果だと考えている。

世代別では、中学生高校生利用世代が他の世代と比較し減少しており、逆に60歳から70歳代は増加している。

#### [自主事業]

自主事業は、図書館に足を運ぶ理由づくりとして実施している。近々の事業では、コンサートの夕べとしてセミプロを呼び演奏会を実施。これは、図書館が土曜日21時まで開館していることを市民に知られていないという現状から、土曜の夕方に開催して21時まで開館しているということを周知するため。また、手造り年賀状教室(絵手紙)や、プロの読み聞かせとして、北千住のマルイでも開催しているけいたろーさんと呼び、ライブラリーの1階アトリウムで人目につくよう開催する。

平野会長

平成22年度の利用状況について、何かご意見ご質問はありますか。

柿沼委員

年代別の利用者数のカウントですが、幼児などはどのようにカウントしているでしょうか。図書カードはお母さんのカードを使用していると思いますが。

小林館長

特に規定はありませんが、その方が読むのであれば赤ちゃんでもカードを作ってもらいたいと思っています。ただし、親のカードを使う場合がありますので、小学生になってもそれを利用されると困ってしまうのですが。本来であれば、生まれた

	<p>らカードを作ってほしいと思っています。なお、この数字は、指定管理導入後システムが変わっており、なぜこんなに増えているかは分かりません。</p>
平野会長 山崎課長 小林館長 柿沼委員	<p>この数字が、母親なのか子どもなのかということですが、本の種別でカウントしているのか、図書カードでカウントしているか。0歳から6歳までのカードでカウントです。実際には読んでいるのが子どもたちでも、母親のカードで借りている場合があるので、利用者数としてはもっと多いかもしれませんね。</p>
大久保委員	<p>学校の図書室には、司書等を置かなければならないなどどういうことになっていますか。</p>
平野会長	<p>各校図書教諭1名を配置しています。教諭の中で司書教諭の免許を持っている資格を持っている者がいる、市から図書サポーターということで、図書環境整備で週1回来ていただいている。司書教諭その時間は図書室の時間をあてている</p>
大久保委員	<p>学校と市立図書館との連携というのはサポーターとしてですか。</p>
平野会長 山崎課長	<p>市からの派遣で、市立図書館からではありません。図書館と学校の連携は、ブックトークによる本の紹介、図書館から行っている事業があり、そこでの連携です。</p>
大久保委員	<p>市からサポーターという専門職の方がきているのでしょうか。</p>
平野会長 小林館長	<p>図書館サポーターですね。資格を持っているのが教員です。追加で申し上げますと、要覧35ページの公共図書館と学校図書室との情報交換会を行っています。今年度も実施しているが、各小中学校の図書担当教諭と小学校3人、中学校1人の図書館サポートティーチャーに参加して情報交換をしている。また、団体貸出として100冊単位で学校に貸出もしています。</p>
平野会長 小林館長	<p>ブックトーク連携事業ですね。北谷が昨年新規で開催しまして、今年度は栄小と中曽根小も要望をいただき、市内全校実施できるようになって非常に好評です。7校に対して18回という回数です。</p>
栗原委員	<p>指定管理制度が導入され、図書等購入予算が倍近くあがったが、1,150万円は本の単価ですか？</p>
小林館長	<p>はい</p>
栗原委員	<p>それでは、ラベルはどうされていますか</p>
小林館長	<p>それは業者のサービスです。本の値段だけでラベルを貼ったり、透明なフィルムを貼ったり、バーコードラベル込での本の代金です。</p>
栗原委員	<p>本の代金とは割引価格ではなく定価ですか</p>
小林館長	<p>そういった意味で、定価で装備が含まれています。通常、装備代は約200円かかります。それは、500円の文庫であっても1万円くらいする本でも同様です。</p>
栗原委員	<p>市に質問ですが、平成11、12年度に約4,200万円分本を購入していますが、この時の本のラベルはどうされましたか。</p>
山崎課長	<p>21年度以前の図書館に携わっていた者がいないので不明ですが、通常一括して含めているかと思えます。</p>
栗原委員	<p>確かラベルは別だったと思います。その時に、市はどこを通して本を買っていた</p>

事務局

のですか。市内の学校は、市内の本屋を通して買っていたのは知っていますが。

21年度の資料で見ると大阪屋だとは思いますが、それについては次回までに調べておきます。

栗原委員

前回の協議会で、1年経過したので導入前と後の決算報告を提出して欲しいと申しましたが、その資料は別にこれから出るのでしょうか。

というのも、館長が最初にお話ししたとおり、協議会の諮問は館長のもとで行われますが、以前は市職員が館長でしたから、直接回答していただけでしたが、今度は指定管理者なので、館長が決算報告をどこまで答えるか非常に困るものがあると思います。移行前は市との話し合い時に図書館費に5,648万円という数値を示していただき、その中で、報酬、賃金、旅費、役務費や委託料などを細かく出してもらったが、少なくとも1年経過した同じ細かい資料を提示し、どう変化したかを見るのが指定管理者制度を考える上で大切だと思います。そういう意味で総額決算ではなく、詳細な決算を出してもらいたいとお願いしたつもりです。それが出ないと市民の判断がうまくいかないと思います。そして、もしも図書館の本を市内の本屋を通じて購入していたのであれば、市の予算が市の中に潤っていったわけです。それが今後は指定管理者の収入になるわけですから、お金は吉川市におちないわけですよ。そういうところも今年は見えていかないといけない。導入前と後の1年経過した比較をしないと私はまずいと思います。毎年やれとは言いませんが、せめて今年度くらいはそういった資料を提示していただけるようお願いいたします。

山崎課長

9月議会が決算ということで、導入前後の決算額ベースで比較したが、21年度歳入が約990万円、歳出がおあしす・視聴覚ライブラリー・図書館すべてで約2億700万円。歳出から歳入を引くと、約1億9,700万円。22年度に指定管理導入後、歳入は指定管理者の収入になり、歳出は約1億8,800万円指定管理料として支払い、差し引くと約884万円減になっているという結果の把握はしたが、経済的な波及は見えていません。単純に決算ベースでの内容です。栗原委員からのご指摘については、今年度もう1回協議会を予定しているので、そういったことを含めて資料を提示できればと思っています。

栗原委員

そうすると約800万円しかうかなかったのですか。中堅職員の1年分の所得分くらいしか結局動かなかったということですか。

山崎課長

決算ベースでいくとそうですね。

栗原委員

確か全体の賃金が約3,352万円くらいですよ。

小林館長

確か同様の話の中で、事務局が以前2~3千万減になっていると話していると思いますが、栗原委員がおっしゃった21年度の約5,800万円の図書館費には、市の会計のやり方の問題で数字のとり方が違います。直営時代は職員10人いたが給料は図書館費には入っていませんでした。ですから約5,800万円ですんでしまいます。しかし指定管理料の中には、我々の給料が入っていて、指定管理料の7割は人件費です。数字のしている部分が違うので、一概に比較しにくいですが、要覧の14ページにあるとおり予算については従来の書き方ができなくなったので、そういった掲載は昨年度からしていません。なぜかというとなんて人件費の問題です。どこの市町村の指定管理料も人件費が大半です。一方、市の予算は人件費が入っていないので、

比較しようがなく、もしくは人件費はある意味シークレットな部分で、市は公開しているが、我々にとって大事な部分なのであまり公開していません。表に出しにくいですが、結果として数千万円減少している。つまり図書館費は約1億円で、昨年までは1億2千万円から3千万円だと思います。今はおあしす・図書館・視聴覚ライブラリーも含めての予算で、3社で1億8千万円の指定管理料を分配していますが、それは表に出ていないのでわかりづらいと思います。しかし、直営時代よりは安くなったと考えています。

栗原委員

でも9月の議会の結果を見て報告すると聞きましたが、前回と今回の比較は議会で出なかったのですか。

山崎課長

おあしすの総括としての質問に対し、決算ですので金額ベースの説明をし、今のようなお話しをしています。図書の購入費用が倍増になった、おあしす分野でも自主事業を開催した、図書館部門でも今までのことをプラスし、利用者が多くなり、利用者満足度調査でも指定管理者導入後、6割以上の方からサービスの向上が図れている。総合的には95%の皆様から良いという評価をいただいています。それらを踏まえ、指定管理導入に関してはメリットがあった、間違いではなかった。という答えをさせていただいています。

栗原委員がおっしゃったような内容の質問や資料の提示は求められなかったもので、事前に調べた範囲の中でお答えさせていただきました。今質問いただいた購入方法は市内業者の影響は当然あるでしょうし、関係があるであろうという範囲をピックアップしながら、比較表みたいなものを作らせていただこうと思います。

栗原委員

普段から思っていました、吉川市内の本屋がどんどん減っている現状があります。潰れていたり、あるいは縮小していることを考えると、予算がどう使われるのか大事なことだと感じます。市の予算が浮いたから、安いからすべてよしとは言えないと思います。その辺のしっかりした明確な総括をここで出しておかないと、指定管理者制度そのものの評価という意味でも難しいものがあると思います。

山崎課長

指定管理者導入時にメリット、デメリットを議論したかと思しますので、それをもう一度見直し、導入したらこういういい影響があるだろうという項目は洗い出ししていると思うので、それに沿った結果をお示しできればと思います。前回の議事録を見せてもらいましたが、見落としてしまって申し訳ありません。

栗原委員

図書館のいろいろなサービスの向上については、私も細かいところまで非常に行き届いてきてとてもいいと思うことがいくつもあります。詳しい予定表や、コピーもB4サイズも置いていただいています。他の図書館はだいたいA4だけですが、古い図書はB4サイズが多いので、A3でコピーと言われると困るのです。それから、以前はただ紙が置いてあるだけで、それを使って本を探すのに自分でメモしていたのですが、紙にちゃんと番号と記号欄が書いてあったりして、そういうところでは私も今回の導入後のサービスの向上はあると思ひ、非常に感謝しています。

平野会長

それでは、導入前後の決算報告の比較表を次回提示いただくことと、指定管理制度を導入してサービスの向上点を報告していただけるということによろしいでしょうか。

事務局

はい。次回に用意させていただきます。

大久保委員	市立図書館はおあしすとは別個のものですよね。おあしすは、複合施設おあしす で、図書館は図書館として独自のものとして違うのですか。例えば、広報のお知らせでもおあしすと図書館と出ています。さきほどの館長や課長の説明でも、おあし す全体に図書館が含まれると聞きました。私としては、図書館は図書館として、 たまたまおあしす複合施設の中にあるが独立してると思っていました。バスの行先 でもおあしすだけは書いてありますが、図書館はどこかに小さくひとつあったくら いで、玄関に入っても図書館という看板があつてしかるべきだと思います。
小林館長	図書館の入口には、図書館の看板はあります。
大久保委員	それは図書館の入口ですよね。建物の外からは見えませんよね。
小林館長	建物の外から見る場合は、おあしすです。
山崎課長	杓子定規に言えば、市民交流センターおあしすというのが施設で、管理運営は一 つになっています。ただし事業別に申し上げると、おあしすという貸館事業と図書 館という事業と二つあるということです。館は市民交流センターおあしすという複 合施設で、館長が言ったように、オーエンスが建物を管理し、アイルコーポレーシ ョンが貸館業務を行い、図書館事業は図書館流通センターが行っています。
大久保委員	今まで市で運営していた中で、複合施設おあしすの中の図書館なのですか。それ とも図書館は図書館、おあしすは複合施設おあしすと、別個のものではなかったの ですか。
山崎課長	それは違います。複合施設としての市民交流センターおあしすです。その中に、 施設として図書館があるということ。市立図書館という位置付けにはなるが、事業 としては独立している。例えば、駅前サービスセンターには、市民サービスセンタ ー業務が入っている複合施設です。
大久保委員	それは施設開設当時からそうなのですか。
山崎課長	そうですね。市民交流センターおあしすと市立図書館という冠はつけています。 ただし、施設が分かれてないので、施設をどう呼ぶがとなると、あおしすという呼 び方になっています。
大久保委員	それでは、図書館には図書館協議会というものがありますが、おあしすについて もおあしす運営協議会というようなものはあるのでしょうか。
山崎課長	おあしす運営協議会という組織がありまして、ちょうど先月開催したところで す。
大久保委員	図書館は独立したもので、おあしすの中の図書館ではないと認識していました。
山崎課長	館長は図書館長がおり、おあしすの所長がいます。私が管理していた時も、兼任 辞令ですが、一人の管理職が図書館長とおあしす所長を兼務する一人の管理職が おりました。事業的にもおあしすの予算と図書館の予算が分かれています。図書館と 言ってもおかしくはないのですが、複合施設おあしすということです。
大久保委員	本来でしたら図書館を建設する時に、建物から独立したものをたぶん読書会から 望んだと思いますが。
山崎課長	その当時の話はちょっと分からないのですが、現在の市の形態は複合が多いです ね。旭地区センターも、地区センターという位置付けの中に、市民サービスセンタ ー部門を入れています。複合という形態の方が、市民にはわかりづらい面もあると

	<p>と思いますが、コスト面等で考えると、メリットがあるということです。</p>
大久保委員	<p>確かに図書館の入口に看板はありますが、例えばバスから降りた時に、ここに図書館があるとわかるようなものがあって欲しいと思います。</p>
山崎課長	<p>それについては、検証させてください。</p>
大久保委員	<p>図書館の存在をもっと市民に周知していただけたらと思います。</p>
小林館長	<p>私も以前から考えておりまして、建物外にそういった周知をすることは、教育委員会から了承も得ていますので、近々看板を立てます。</p>
久田委員	<p>関連して、ホームページをおあしすで検索すると、図書館のホームページにスムーズに辿り着かない場合があります。おあしすはおあしすで掲載されていて、図書館は図書館で掲載されているのですね。大久保委員のお話しは、館内で実際に目で見える話でしたが、私はパソコン上での、おあしすと図書館の話です。</p>
小林館長	<p>確かに一緒です。上をクリックするとおあしすで、下をクリックすると図書館となります。市のページもあって、非常にわかりにくいと思います。</p>
久田委員	<p>中途半端にネットをする方は探すのに大変かもしれないです。また、図書館だよりを最近設置してくれていますが、中央公民館が家から近いのでよく見させています。新刊の詳細やいろいろな情報を掲載しているので、非常にいいと思います。</p>
平野会長	<p>質問の中で要望意見がたくさん出ていますが、ホームページと看板の設置についてはよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。指定管理者と協議の上進めてまいります。</p>
平野会長	<p>館長から他に何かありますか。例えば、こういうことについて意見を聞きたいなど。</p>
小林館長	<p>我々は、社員が37名しかいないのでどうしても煮詰まることがあります。ぜひ、みなさんが外から見る図書館として意見を伺いたいです。図書館に望むのは何か。例えば、資料の充実やこんなイベントをやってほしいなど。また図書費を1500万円から3千万円に増やせ、毎日21時まで開館を延長や休館日を減らせなど、我々は我々の論理に納得してしまっている部分があるので、全く違う視点で意見を聞かせていただければ。図書館として欠けている部分や、非現実的でも構わないので。例えば千代田区の図書館は、12月31日まで開館していて、1月1日と2日しか休んでいません。一方、吉川は約280日しか開館しておらず、圧倒的な差があります。そういうことでも構いませんので、現実的でなくても、ぜひお一人ずつご意見をいただければと思います。</p>
若林委員	<p>私の所は幼稚園ですが、先程小学校の関わり合いを聞きました。逆に幼稚園との関わりということで、幼稚園児はなかなか自分で本を読むことはできませんが、当園でも、本の読み聞かせとまず指で文字を追うことを行っています。なかなか活字を読むことは難しいですが、本に親しむきっかけとかイベントなど、何かできないかと思っています。</p>
山崎課長	<p>今の話ですが、現在7ヶ月児相談でブックスタートを実施しているがその検証はという質問が9月議会で出されました。その中で、3歳や2歳時健診及び小学校入学時にブックスタートをとという意見があり、担当課と協議したところ、検診時に行うとなると、7ヶ月の場合はその月に生まれた子が10人から20人の少人数で実</p>

	<p>体的にはできるが、3歳時等になると1学年約600人で月で割ると50人程度で、流れ作業になってしまいブックスタート事業としては難しいと考えました。そこで、子育て支援センターなどと連携し、いわゆる幼稚園まで入り込めるかは要検討だが、今後指定管理者と協議していくと回答しました。新たになんらかのブックスタート事業に加わるような事業を、指定管理者と協議のうえ展開していきたいと考えています。</p>
大久保委員	<p>本のきっかけづくりなど、ブックスタートはいいことだと思います。私個人としては、以前は講演会など都内など行っていましたが、正直年を取ると都内まで出掛けることが大変になります。何か講演会など開いてもらいたいと思っています。</p>
小林館長	<p>例えば、どういった方の講演会ですか。</p>
大久保委員	<p>例えば、親鸞など今本になっているので、それに関わる方など。何かちょっとした講演会を開催していただきたいです。本来なら、文化連盟などで企画もあってしかるべきかと思いますが、そういった団体と連携していければ。</p>
小林館長	<p>今話題のもしドラの著者である岩崎さんであれば、会社関係でいつでも実施はできるのですが。児童文学作家だと講演料が非常に安く、呼ぶことは可能です。</p>
大久保委員	<p>講演会を聞いて何かのきっかけにしたいと若い時は思いましたが、今はそういうとこまで行かないので、何か安らぎを作って欲しいと思います。</p>
久田委員	<p>私は、中央公民館で読み聞かせをしています。週によって担当が違いますが、私は第2土曜日を担当していて、ちょうど図書館での英語の読み聞かせとぶつかり、非常に参加者が少ないです。もうちょっと来てくれないかと思っています。</p>
柿沼委員	<p>久しぶりに図書館を見て、雑誌が増えていて非常に嬉しいです。予算削減のため雑誌が減らされてしまい、非常に残念だった思いがあります。その時期に図書館から離れた利用者もあったのではないのでしょうか。今は雑誌が非常に増えて凄く嬉しかったのですが、それを知らない人が多いのではないかという気がします。内容が充実していても、いろんなことを実施していても市民に届かないということがあると思う。告知の仕方とか、先ほどの看板もそうですが、図書館だよりをだしていると思うが、若干地味というか、興味がある方は見ると思うが、なかなか回覧でまわっても他の広報物と一緒にすらっと流してしまうのかなど。どこかで派手なものとか、メディアを利用するなど何かそういうアイデアはありますか。</p>
小林館長	<p>新聞ですね。来週水曜日、朝日新聞のマリオン版にライブラリーで実施するけいたろうさんの読み聞かせライブの記事が掲載されます。今後は、何か実施する前に朝日・読売・産経新聞に情報を告知したいと考えています。</p>
柿沼委員	<p>雑誌についても、表紙の写真を撮って並べ、これもあれも置いていますという情報もいいと思います。それと、選書の方法ですが、タイミングというのは例えば1ヶ月に1回などですか。</p>
小林館長	<p>毎週です。毎週金曜日の午後には新刊が出ますので。</p>
柿沼委員	<p>その中で検討していれるということですか。</p>
小林館長	<p>いや、結果として2週間後です。本屋に本が並んでから2週間経つと予算の範囲内で新刊を購入しています。</p>
柿沼委員	<p>2週間をもっと縮めることは可能ですか。</p>

小林館長	<p>選書で1週間、装備で1週間かかるのでこれが最短です。日本全国これ以上早いというのはいないと思います。</p>
柿沼委員	<p>新刊については2週間の対応というのは分かりました。先日、友人から言われたのが、夏休みの中学生の読書感想文用に本を借りようと思ったが、読書感想文向けの本を図書館で検索したところ、なかなか当たらなかったと聞きました。新しい本ではなく、古い本でもこういう本が読書感想文に向いていますという本があると思う。昔、読み聞かせ絵本を選ぶのに、読み聞かせに適した本のサイトなどでリストアップして検索したが、あまり検索できなかった経験があります。</p> <p>選書の際にそういったサイトを参考にして、中学生向けの定番や小学生向け学年ごとのおすすめの本などがあると思うが、そういったサイトを参考にして本を選ぶことはできないでしょうか。</p>
小林館長	<p>もちろん新刊以外に定評のある、いわゆる図書館に置くべきだがまだ購入していないという本は、日々スタッフが目を配って入れるようにしています。ところが、選んだものがそういった本に当たらないということはあると考えます。そういった場合は、ぜひリストごとください。吉川の図書館では置いていないではないかと、図書館を利用していただけなくなるのが一番困ります。我々が知らないところでそういうことが起きていると、また一人利用者を失ってしまいますので、それが一番悲しいです。ぜひカウンターに来て要望してください。</p>
柿沼委員	<p>それで本を入れていただいて、なんらかの方法で小・中学生やその保護者にPRしてもらいたいと思います。もうひとつ、私は道庭に住んでいますが、おあしすまでは非常に遠く、ライブラリーが一番近いです。さきほど中央公民館が中心になってくるというお話しでしたが、美南地区に一つできないかと思います。独立した図書館が難しいのであれば、児童館ワンダーランドでも。小さい子や若い世代が多いと思いますが、中央公民館へは、ベビーカーや自転車で行くのはちょっと。利用者の年代などをみて考えて作ってくれれば嬉しいですね。</p>
山崎課長	<p>中央公民館で市民講座という事業を開催していますが、その中で吉川のまちづくりの講座の際に同じような質問をいただきました。今後、美南小学校が建設され、その後中学校建設を予定で、小学校には公民館の複合施設として予定していますが、図書室はありません。児童館ワンダーランドは所管が違いますが、現在児童館に本はあるが、利用者がどうしても借りたいという話であれば借りることも検討し、連携が図れればと思います。規模は別として、今後考えていく必要があるという意見も出ており、中学校の新たな建設の際にそのような意見を入れられるのかなと考えています。</p>
川島委員	<p>私は、布絵本づくりを11年やっていますが、11年前にある先生が今の絵本を図書館に買っていただきました。今は、それをほとんど縫い尽くしてしまっており、今度こういう絵本が出ましたよとありましたら図書館で買っていただけますでしょうか。</p>
小林館長	<p>もちろん買わせていただきます。</p>
川島委員	<p>本を自分達風にアレンジして本を作ったことがあります。要覧の41ページにあります。11年でこれだけの作品を作りました。また、7ヶ月健診の際に本を</p>

<p>岸田チーフ 川島委員</p>	<p>プレゼントしているのはいいことだと思います。その時に、以前市の職員が布絵本を持って来て、待ってる子に布絵品を見せてくれていて、これ活躍しているんですよと言ってくれてもの凄く嬉しかったのです。今はやっていただいていますか。 現在も使わせていただいています。</p> <p>ありがとうございます。布絵本は小さい子の手の訓練なんです。スナップをつけたりボタンや紐を結んだり、色の綺麗さや物を外したり、自分なりの工夫で絵本を作っていくんですね。ですから、もし活用していただければありがたいです。今、みな高齢になって、作る人がだんだん少なくなってきました。もし、針仕事とかやってみたい、自分の子や孫にという方がいれば私が指導しますので、生活工房1で第2・4火曜日の13時からやっていますので、参加してみてください。こんな楽しいものを子や孫に作ってあげたら、夢が膨らむんじゃないかなと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>石川委員</p>	<p>私が一つ便利になったと感じたことは、リクエストで画面から自分の番号を入れて直接リクエストできるようになったことです。紙に書かなくてよくなったのがすごく便利になったと感じます。今までは書いていましたが、とてもよくなったと思っています。</p>
<p>坂入委員</p>	<p>私は、精神障がい患者の家族の方と交流があるのですが、精神の障害について、当事者や家族以外の方にはなかなか理解してもらえないことが多いと聞きます。多くの方に精神の病気や障害について知ってもらえるような、堅苦しくない本を選書していただければと思います。例えば「私の母はビョーキです」という漫画などは、読みやすく分かりやすい本です。</p> <p>また、ライブラリー1階のアトリウムの利用について、ソファやテーブルなどを置いて、持参のお茶や軽食などをとりながらくつろげるようになればありがたいと思います。図書室の利用にもつながるのではないのでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>私が感じるのは、以前より、他館から本を取り寄せる能力が前より倍増しているところです。他の図書館からも本を探せますよと、もっと前面に出せば市民も足を運んでくるのではないのでしょうか。そうすれば自館のものも見て帰るということもできます。レファレンスの機能の中の、他館からの書籍の取り寄せをもっと宣伝してもよろしいのではないのでしょうか。私は非常に助かってます。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 平成28年 11月18日</p> <p>署名委員 若林元城 署名委員 坂入操子</p>	

